



【ドイツのヴァリッヒ市と姉妹都市提携】

学校法人藤井学園がヴァリッヒ市の学校と姉妹校提携を結んだことをきっかけに都市間の交流を深めてきました。丸亀市から市長や議長をはじめとする代表団が現地を訪問し、7月8日に姉妹都市提携を締結しました。

主な内容

- 特集 小学校の議場見学…… 2
- 議会のホームページ… 3
- 定例会・議案の内容……… 4
- 質疑・人事案件・議会の動き… 5
- 一般質問……… 6
- 委員会審査……… 14
- 請願審査・討論・意見書…… 15
- 審議結果・表彰・編集後記… 16

6月定例会
6月1日~23日

特集

市内小学校6年生、議場見学と模擬議会に熱中!

4月28日、5月1日と2日に、城東・城坤・城北・富熊小学校6年生の児童たち（約280名）が、校外学習で議場見学に来てくれました。



元気いっぱいの児童たちは初めて入る議場に、「じゅうたんが気持ちいい」「椅子の座り心地が最高」と大興奮でした。



児童たちは議長や副議長のお話や職員の説明に熱心に聞き入り、質問を投げかける姿も見受けられました。

説明の後には児童たちは市長、議長、議員などになりきり模擬議会も行われました。



模擬議会では、市長役の児童から提案された議案の議論が行われ、児童たちはそれぞれの役割を担い、市議会での議論や意思決定のプロセスを体験しました。



議場の雰囲気緊張しながらも真剣な表情で取り組み、自分の意見を発言する姿はまるで未来の政治家たちが集まったかのようでした。



今回の校外学習を通して、児童たちは議場の雰囲気や議会の流れを学び、民主主義の重要性や選挙の意義を理解する機会になったと思います。

地域の未来を担う子どもたちが、主権者としての意識を高め、より良い市政の実現に向けて関心を深めるきっかけとなってくれることを願うとともに将来のリーダーとして輝かしい活躍をすることを期待しています。

特集

議会のホームページが リニューアル

3月15日の市公式ホームページの
リニューアルに伴い、市議会のホーム
ページも見やすくなりました。

ぜひご覧
ください。



<https://www.city.marugame.lg.jp/site/gikai/>

議会のホームページには何があるの？

例えば…

- ・議員の紹介
(名前、年齢、連絡先、所属会派など)
- ・本会議や委員会の会議の日程
- ・提出議案と審議結果
- ・本会議での質問者と質問項目
- ・本会議や委員会の会議録
- ・過去の本会議の録画映像
- ・議会だよりのバックナンバー
- ・議長交際費と政務活動費の
支出状況



特集

委員会の会議録が 閲覧できるようになりました

丸亀市議会では、開かれた議会を進めるため、会議の見える化に取り組んでいます。その一環として、これまでの本会議に加え、今年度から常任委員会と特別委員会の会議録をホームページで掲載することにしました。

丸亀市議会会議録



※丸亀市の公式ホームページ内にはありません。

丸亀市議会会議録検索システム ⇒ 会議録を閲覧する に進んでください。

委員会とは、本会議で付託された議案や特定の案件等を専門的に詳しく審査するために設置された議会内の機関です。現在、総務委員会、教育民生委員会、都市環境委員会、市民会館整備特別委員会があります。また、毎年3月議会では予算特別委員会が、9月議会では決算特別委員会が設置されます。

シナリオのない
議員と市長、市職員の
やりとりが読めて、
おもしろいかも？

6月定例会

6月1日～23日(23日間)

- 1日
 - ・議案第58号 提案説明・質疑・討論・採決
 - ・議案第59号から議案第70号まで 提案説明
 - ・議案第71号 提案説明・討論・採決
 - ・議案第72号 提案説明・討論・採決
- 5日
 - ・議案第59号から議案第70号まで 質疑・委員会付託
- 12日
 - ・教育民生委員会
 - ・都市環境委員会
- 13日
 - ・総務委員会
- 16日、19～21日
 - ・一般質問
- 23日
 - ・議案第59号から議案第70号まで 委員長報告・討論・採決
 - ・議案第73号 提案説明・討論・採決

議案の内容

市長から、
こんな提案がありました。

▼議案第58号 専決処分の承認について(丸亀市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正)
新型コロナウイルス感染症の法律上の位置付け変更に伴い、感染症防疫手当の支給の特例規定を廃止するため条例の一部を

専決処分により改正したので、報告し、承認を求めます。
▼議案第59号 令和5年度丸亀市一般会計補正予算(第3号) マイナポイント事業費やがん患者医療用補整具助成金、産後ケア交通費補助金など、2624万円を追加する。
▼議案第60号 丸亀市市税条例の一部改正について
地方税法等の一部改正に伴い、扶養親族等申告書の簡素化、森林環境税の開始、特定小

型原動機付自転車の車両区分創設に伴う規定の整備、下水道除害施設の特例措置割合の見直し、自動車メーカーの不正行為再発防止策の強化を講ずるとともに、頂ずれへの対応等の改正を行う。
▼議案第61号 丸亀市公園条例の一部改正について
飯山町上法軍寺で新たに街区公園が整備されたこと、及び飯野児童遊園が再整備工事を行った際の合筆により地番が変更されたことに伴い改正を行う。
▼議案第62号 丸亀市民会館条例の一部改正について
開館時間、使用料等を定める。
▼議案第63号 丸亀市企業立地促進条例の一部改正について
工業団地の開発推進と企業立地促進のため、県が令和5年度から開始した民間資本による工業団地の開発、整備に対する支援制度に上乗せし奨励金を交付できるように改正を行う。
▼議案第64号 丸亀市火災予防条例の一部改正について
省令の一部改正に伴い、20kWを超える急速充電設備を対象とするとともに火災予防上必要な措置の見直しを行い、併せて健康増進法の改正に伴い喫煙等の規定の見直しを行うなど、改正を行う。
▼議案第65号 工事請負契約の締結について(丸亀市(仮称)みんなの劇場新築に伴う舞台音響設備工事)
ヤマハサウンドシステム株式会社大阪営業所と工事請負仮契約を締結したため、議会の議決を求める。
▼議案第66号 物品の購入について(塵芥収集車(2t車級パッカー車)5台)
有限会社ダイゲン自動車と物品売買仮契約を締結したため、議会の議決を求める。
▼議案第67号 物品の購入について(資源収集車(2t車級パッカー車)2台)
有限会社丸亀モーターズと物品売買仮契約を締結したため、議会の議決を求める。
▼議案第68号 物品の購入について(小型動力ポンプ付積載車(普通自動車)3台)
香川トヨタ自動車株式会社ときめつく丸亀店と物品売買仮契約を締結したため、議会の議決を求める。
▼議案第69号 物品の購入につ

いて(消防ポンプ自動車CD-I型(消防本部)1台)

株式会社岩本商会高松支店と物品売買仮契約を締結したため、議会の議決を求める。

▼議案第70号 訴えの提起について

富士見町一丁目地内の市有地を不法占拠中の瓦等の所有者の相続人に対し、撤去を求めることに議会の議決を求める。

▼議案第71号 公平委員会委員選任の同意について

▼議案第72号 監査委員(議員選出)選任の同意について

▼議案第73号 農業委員会委員任命の同意について

人事案件

今期定例会で審議された人事案件は次のとおり(敬称略)

▼公平委員会委員

高松市錦町二丁目 勝丸 千晶

▼監査委員(議員選出)

郡家町 武田 孝三

▼農業委員会委員

今津町 大西 貴久

金倉町 田中 浩信

山北町 尾野 弘季

川西町南 内田 久夫

質疑

マイナポイント事業延長

Q 中谷議員 マイナポイントの誤付与が続出しているが、本市での状況は。また、さらに期限延長をするにあたってトラブル防止対策は。

A 本市では、各地で誤付与の原因となった端末機操作後のログアウトを徹底して実施しており、誤付与の報告はない。現在、今回の事案に対応したシステムに切り替えて運用しており、今後も操作後のログアウトを徹底し、全国の事例等を情報共有する。

三条町

飯野町東二

垂水町

土器町西二丁目

綾歌町岡田上

綾歌町岡田西

綾歌町栗熊東

綾歌町富熊

飯山町下法軍寺

飯山町川原

飯山町東坂元

山北町

平山 康生

和泉 弘美

山根三枝子

富田 等

牛田 均

小松和貴子

竹内 章雄

松永 哲之

竹田 久義

松永 哲夫

尾崎 義美

松下 孝江

議会の動き

4・5・6月

4月

- 6日 各派会長会
- 12日 市民会館整備特別委員会
- 14日 全員協議会
各派会長会
議会運営委員会
- 19日 各派会長会
議会運営委員会
- 25日 臨時会
各派会長会
- 28日 議会運営委員会
各派会長会

5月

- 1日 広報広聴委員会
- 8日 全員協議会

- 12日 各派会長会
- 23日 議会運営委員会
- 24日 全員協議会
市民会館整備特別委員会
都市環境委員会協議会
広報広聴委員会
- 26日 各派会長会

6月

- 1日 本会議
- 5日 本会議
- 12日 教育民生委員会
教育民生委員会協議会
全員協議会
都市環境委員会
都市環境委員会協議会
- 13日 総務委員会
総務委員会協議会
広報広聴委員会

- 16日 本会議
- 19日 本会議
議会運営委員会
各派会長会
- 20、21日 本会議
- 23日 本会議
- 29日 市民会館整備特別委員会

他市議会の視察受け入れ

他市の議員、職員が本市の施策を視察しました。

- 5月10日 山形県天童市議会
「レクザムボールパーク丸亀の利活用について」
- 5月12日 大阪府茨木市議会
「文化芸術基本条例について」
- 5月18日 茨城県神栖市議会
「川西地区の自主防災活動について」

一般質問 16人の議員が市政を問う

■質問者・項目

太字の項目は本文中に要約文を掲載

- 廣田勝也
 - ① 待機児童対策② ふるさと納税の広報戦略
 - 川田匡文
 - ① 企業誘致② 丸亀港と丸亀駅周辺の公共用地の活用③ 道徳教育
 - 横川重行
 - ① 地域クラブ活動② 雑草等の堆肥化
 - 横田隼人
 - ① DX② 公園再整備③ 若手職員まちづくり研究チーム
 - 物価高騰対策
 - ④ 物価高騰対策
 - 真鍋順穂
 - ① 地球温暖化対策② 豪雨災害対策
 - 角野仁美
 - ① 周産期グリーンケア② 農地
 - 渡邊一馬
 - ① 子ども食堂② I型糖尿病
 - 福部正人
 - ③ コロナ5類移行後の中学校
 - 用水路等転落事故防止対策② 投票済証や投票所来場カード③ 制度のはざまにいる方④ 災害ケースマネジメント⑤ ひきこもりピアサポーター⑥ 自転車ヘルメット
-
- 加藤正員
 - ① マルタス② 提案型協働事業③ 地方創生臨時交付金④ 生活支援と企業支援の融資
 - 守家英明
 - ① 図書館施策② インクルーシブ防災③ 土器川の環境維持
 - 大西 浩
 - ① 対話型AI② 自転車
 - 内田俊英
 - ① 官民協働② 電子図書③ 生成AI
 - 神田泰孝
 - ① 生涯学習センターの天体望遠鏡② 大阪・関西万博③ 観光PR④ 公式LINE情報配信⑤ ニツカリ青江⑥ ライフジャケット
 - 水本徹雄
 - ① デジタル市役所② 介護保険制度③ 高齢者等移動手段確保事業④ うちの港ミュージアム跡地⑤ 婆娑羅まつりと花火大会
 - 岡田 剛
 - ① 次世代育成基金② 子育て世帯への応援③ 物価高対策
 - 中谷真裕美
 - ① コミュニティバス② 住宅耐震化・危険ブロック塀撤去

一般質問

ふるさと納税の効果的な宣伝を



廣田勝也議員



SNSの活用で効果的な情報発信を

Q 昨年度の本市のふるさと納税寄附額は県内8市の中で最下位であった。いい返礼品には高評価がつき、人々はその評価を見て返礼品を選ぶが、目に留まらなければ、返礼品の紹介ページにすら入ってもらえない。そのため、本市の返礼品を認知してもらおう必要があると考え、SNSなどを活用した宣伝戦略は？



A 市長 現在、納税ポータルサイト内の本市登録者へのメルマガ配信や県外在住者へのパンフレット配付のほか、ホームページにバナーを配置し、ポータルサイトへの誘導を図っている。今年度は、納税の集中期にポータルサイトで本市返礼品

がより目に留まるよう表示方法の工夫等、戦略的な広告を図るとともに、開始予定の市公式LINEでは、市外在住者におけるさと納税の情報を発信する。私自身もあらゆる機会にトップセールスを行い、様々な媒体で効果的な情報の発信に努める。

丸亀港・丸亀駅 周辺に活気を

Q



川田匡文議員

丸亀駅・丸亀港周辺のにぎわいづくりと活性化のため市民一丸で取り組んできた娑婆羅まつりと丸亀港での花火大会が廃止となり、このエリアの衰退が懸念される。今後、将来を見据えた活気のあるまちづくりに取り組む必要があると考えるが、うちの港ミュージアム跡地の活用策は。



うちの港ミュージアム跡地



A

産業文化部長 うちの港ミュージアム跡地はさ

ぬき浜街道に面し、丸亀城をはじめ、中津万象園、新丸亀うちわミュージアムから四国水族館へ至るまでの結節点であるが、旧施設の建物は築後30年を経過し、経年劣化や安全性の観点か

ら一般的な利用は難しい。今後の跡地利用の可能性を探るため、市若手職員の研究チームからの提言や民間事業者から活用意向やアイデア等の提案をもら

うサウンドディング調査、産業振興推進会議からの意見聴取等を実施し、活用策を検討する。

部活動の地域移行 指導者への講習は

Q



横川重行議員

今年度から始まった部活動の地域移行は、公立中学校で教員が受け持っている休日の運動部の部活動の指導を地域のスポーツクラブや民間企業、競技団体等の外部の団体に移行する改革である。これらの外部指導者に専門性や人権意識などの講習を定期的に行う必要があると考えるが、方針は。



のびのびと有意義な活動を



A

教育長 部活動指導員や外部指導者には、部活動

の教育的意義や目標、活動方針等を確認し合った上で、学校の方針に従って指導面の一翼を担える適任者を推奨している。また、指導方針を統一するためのマニュアル等を作成することで、

部活動を通じた人間形成にも共通認識の下、指導を行うことが期待できる。そのため、外部指導者との共通理解の場に加えて、生徒にとって安全で有意義な活動となるよう、専門家を招いたコンプライアンス研修等の

実施を検討する。

物価高騰対策 生活支援を

Q



横田隼人議員

諸物価が上がり、今後もさらなる値上げが危惧される中、9月には国によるガソリンや電気代等の激変緩和策の終了が予定されており、市民生活や中小企業の状況はさらに厳しくなってくる。9月定例会には、生活支援や市内経済の活性化策の補正予算を計上する必要があると考えるが、見解は。



物価高騰 生活への影響は大きい

A

市長公室長 これまで物価高騰の影響を受けた事業者に実情に応じた支援策を実施し、市民生活の負担軽減も重点的に対策を講じてきており、今年度もいち早く低所得世帯向けの緊急支援に係る補正予算を計上し、継続的な生活支援に取

組んでいる。秋以降も市民の生活実感は厳しく、消費の冷え込みによる経済回復の遅れも懸念されることから、対策検討の必要性は認識しており、引き続き経済指標や国と県の動向を注視し、市民生活を支えるきめ細やかな支援の実施に努める。

水害の 防災・減災対策

Q



真鍋順穂議員

地球温暖化による気候変動で、近年豪雨災害が相次ぐ中、本市でもここ数年間で内水氾濫が各所で発生し、市民の不安が高まりつつある。市は過去の災害を踏まえ、どのような改善策や確率予測からの予防策を講じていくのか。



安心して暮らせるまちに

A

市長 改善策としては、過去の浸水被害実績の要因を分析し、重点地区や排水手法等を定め、集中的に排水対策を実施することで浸水被害の軽減や早期解消を図る総合排水計画の策定に取り組むとともに、緊急的な局所対策も実施している。また、予防策としては、昨

今の気候変動による気象状況や浸水要因等も考慮し、放流先となる国や県河川等の整備計画や整備状況との整合性を図りながら、総合排水計画策定過程の中で確率予測である整備目標を設定し、それに基づき排水対策手法等の整備内容を定めることとしている。

農家の方へ 手厚い支援を

Q



角野仁美議員

現在、本市で行っている害虫駆除薬剤や麦の種子の購入に対する補助は、農業推進のための重要な施策であるが、農業者が営農継続していく後押しや、新規就農者や農業再開者を増やしていくけるよう、さらなる支援が必要であると考えている。市の見解は。



更なる支援で農業を守る

A

市長 高齢化や後継者不足に加え、近年の原油価格や諸物価の高騰による経費の増大など、営農継続への厳しさが増している中、地方創生臨時交付金を活用した主食用米生産臨時支援事業をはじめ、市独自の総合的な支援を行ってきた。今年度からは有機JAS認定新

規取得費補助金や環境に優しい農業推進事業補助金を創設した。また、新規就農者や農業再開者へは、関係機関と連携した相談支援を強化し、新規就農者向けの支援策をはじめ各種支援施策へ誘導することで、就農や農業再開のハードルを下げ従事者の増加につなげていく。

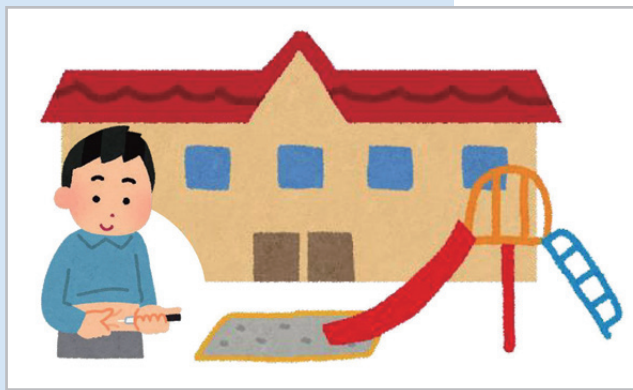
I型糖尿病を患う 児童の受入れ体制

Q



渡邊一馬議員

I型糖尿病の児童は、看護師配置の問題や責任が取れないという理由で、保育園等への入園を断られるケースが少なくないが、周囲の理解と適切なインスリン治療で健常児と変わらない生活を送ることも可能である。本市では、私立園も含めて保育園等での受入れ体制の整備はどうなっているのか。



関係機関との連携で受入れ体制の整備を

A

教育部長 昨年3月に、市立就学前教育・保育施設における医療的ケア児の受入れに関するガイドラインを策定し、実際に公立幼稚園で医療的ケア児の受入れを開始した。ガイドラインにはインスリン注入も医療的ケアとして行うことが

ら、基本的に受入れは可能である。一方、私立園では、看護師の配置に加え主治医や関係機関との連携など受入れ環境の整備を困難に感じる施設も少なくない。私立園の意見も踏まえ情報提供と協議を進め、安定した受入れ体制の構築を目指す。

樹脂ネット で 転落防止を

Q



福部正人議員



転落事故防止の樹脂ネット

本市では、昨年25件の用水路転落事故が発生した。市では防止策として県のガイドラインを基に、防護柵や水路の蓋掛け等に対応しているが、道路の狭小化やコストの課題がある。そこで比較的簡単に取り外しができ、耐久性とコストに優れた樹脂ネットの設置を検討してはどうか。



A 都市整備部長 用水路等への転落事故は、昨年には市内では死亡事例はなかったが、本年4月には死亡に至る痛ましい事故が発生するなど、転落事故防止対策の実施が強く求められている。本市では、これまで県のガイドラインを参考に、危険度と重要度で優先度を

判定し、落ちない対策や気づかせる対策を実施してきた。樹脂ネットは転落事故を完全に回避できるものではないが、事故による負傷の軽減に有効であると捉え、設置後の維持管理を含め用水路施設管理者の意見も参考に設置の検討を進める。

コロナ融資返済 困難者に支援を

Q



加藤正員議員



返済に困ったときは相談を

コロナ禍では、生活支援のための緊急小口資金や総合支援資金、企業支援として無利子無担保のいわゆる「ゼロゼロ融資」が行われていたが、その返済時期が近づいている。返済が困難な人や企業に対して、市ではどのような対応を予定しているのか。



A 健康福祉部長 返済が難しい人は、住民税非課税や生活保護受給などの要件を満たす場合には免除、病気療養中などの場合には猶予が認められるが、免除や猶予に該当しない場合、生活困窮者の自立相談支援事業や家計相談支援事業等を活用し、包括的に支援する。

A 産業文化部長 企業訪問専門員や商工会議所等の関係機関とともに状況把握と相談支援の強化に努め、返済が困難な企業には借換保証制度等の支援策の情報提供や各支援機関の紹介のほか、必要に応じて国や県に支援策の追加・拡充を要望する。

土器川河川内の 土砂撤去を

Q



守家英明議員

土器川河川内には、土砂堆積や雑木の繁茂が顕著な箇所が見られる。豪雨の際には河川内の自転車道が水没しており、堆積土砂の影響が考えられる。また、繁茂した雑木地帯は野犬等の住みかとなっているようで、日常生活の安全から不安の声がある。土器川流域である市の対応は。



豪雨後の自転車道

A 市長 国土交通省では今年度、丸亀大橋下流の雑木伐採、高柳橋上流の堆積土砂撤去を行う予定であるが、先日実施した合同巡視で、高柳橋から中方橋までの左岸側で自転車道が位置する高水敷の高さまで川底に土砂が堆積している現状

を国土交通省と確認し、支川からの排水不良や高水敷の利用に支障があることから、対策を依頼した。本年7月にまんのう町と行う国への要望の際には、適切な維持管理を国土交通省に願いとするとともに、予算財源の確保を財務省に要望していく。

自転車活用推進 計画の策定を

Q



大西 浩 議員

自転車の利用を促進し、交通における自動車への依存の程度を低減することで公共の利益増進に資することを基本理念とする自転車活用推進法が施行され、県でも自転車推進計画が策定された。本市でも、自転車の安心安全な利用による健康増進や観光振興のため、自転車活用推進計画を策定してはどうか。



県道丸亀琴平観音寺自転車道線

A 都市整備部長 土器川の堤防等を利用した県道丸亀琴平観音寺自転車道線などが整備されているが、市道では、歩行者や自動車と分離された自転車通行帯の連続性が確保できず、当面は幹線道路を中心に道路整備する予定のため、

自転車通行空間の計画的な整備は難しい。現段階では、健康、観光、交通安全等の各施策で自転車の適正利用の促進を図る。計画策定は、市内幹線道路網の整備により、自転車通行帯の連続性の担保が可能となった段階での検討課題と考える。

企業のセンスを 役所の風土に

Q



内田俊英議員

企業との応援協定や企業からの寄附は大変有り難いが、官民協働にまず必要なのは、人と人との気脈を通じることである。企業が持つセンスを市役所の風土に取り入れるためにも市の抱える課題をテーマに、企業と行政が意見交換を行う場を設けてはどうか。



人と人がつながる官民協働を

A

市長 民間企業では地域貢献、地域課題の解決を見据えた新ビジネス創出の動きが強まっているため、一歩進んだ連携により民間感覚を取り入れるチャンスはあるが、組織風土まで行き渡っておらず、官民の垣根を超えた発想・行動ので

きる人材等の育成が課題である。その手立てには改まった場の設定よりも官民協働の取組みの中で自然と民間の感覚を感じ取り、組織風土に根付くことが理想的と考え、今後民間との密接な関わりを増やしていく。

名刀で 地域ににぎわいを

Q



神田泰孝議員

2021年10月から11月にかけて開催したニツカリ青江公開プレミアムマンスは、延べ1万人以上が丸亀資料館へ来場した。次のニツカリ青江の公開を望む声が多いが、公開予定は不透明である。そこで次年度の城泊開始と時期をあわせて公開すれば、城泊の宣伝も期待でき、相乗効果も得られるのでは。



前回の公開展では一ヶ月で入場者数が11,079名を記録

A

教育部長 現在、城泊のメニューの検討と併せてニツカリ青江の公開展示の検討を予定しており、公開実施時期も城泊事業を開始する令和6年度中での開催を考えている。また、これまでのニツカリ青江の公開展示では、刀剣乱舞の声優

による丸亀城めぐり音声ガイドや丸亀周遊スタンプラリーなどの関連イベントが中津万象園や商店街等への回遊性をもたらし、より高い相乗効果が見られたことから、今回の公開展示でも、観光部局と連携して地域へのより高い波及効果を目指したい。

丸亀デジタル 市役所に向けて

Q



水本徹雄議員

全国の自治体では、行政のデジタル化に向けた取組みが始まっている。最近では本市でもAIによるイベント情報集約サイトを導入したが、取組みはまだ道半ばと考える。市民サービス向上や行政事務の効率化、負担軽減等を目的としたデジタル化の取組みの方針や考えは。



デジタル化で待たずに便利

A

市長 行政手続のオンライン化は、市民サービスの向上や行政事務の効率化に直結すると考え、デジタル化に向けた市の重点課題として推進している。具体的には、実現すれば窓口で申請書類を書かずに証明書の発行が可能となる書かな

いワンストップ窓口のほか、公共施設の予約申請や押印廃止に伴う電子申請等の導入に向けた検討も行う。また、最近話題のChatGPTも安全面に配慮しつつ、負担軽減や業務効率化につながる活用を進めていく。

運転免許 取得費用の助成を

Q



岡田 剛 議員

自動車運転免許の取得費用は繁忙期は30万円から40万円かかるが、免許取得をする年齢は一番支出がかさむ時期になると考える。昨年度、本市は次世代育成基金を作ったが、この基金から運転免許取得時に一人1回だけ10万円の給付はできないか。



若者の免許取得に費用助成を

A

総務部長 運転免許取得費用は安価ではなく、家計への影響は大きいと認識しているが、経常的な事業の財源は経常的な収入で賄う原則から、基金活用の事業は、政策的に不可欠な取組みなど限定化すべきであるとともに、基金の設置目的に事業内容が合致するかを判

断する必要がある。学校給食費無償化等のために積み立てている基金残高への影響も懸念され、現時点では次世代育成基金の運転免許取得費助成への活用は難しい。更なる子育て支援策も検討している国の動きも注視し、基金を有効に活用できるように中・長期的な視点で検討する。

コミュニティバス 改善を



中谷真裕美議員



利便性向上で多くの利用を

①75歳以上運賃無料の年齢確認に保険証・マイナカード以外の「高齢者バス」を希望者に交付してはどうか。②通勤通学の利用が多いレオマ宇多津線の朝の第1便は運行遅延が著しく、琴電の接続便に間に合わないことがあるが、改善は。③坂出方面へアクセスできる路線の実現への見解は。



A

都市整備部長 ①高齢者バスとして一律交付はし

ないが、年齢を一目で確認できるように、長寿手帳を活用して75歳以上の証明を記載する検討を行う。②レオマ宇多津線の朝の第1便は利用状況を確認したところ、四国水族館への乗り入れ

見直しが可能であり、琴参バスと協議を行う。③綾歌・飯山から坂出市へのアクセスにニーズ

があることは認識しているが、コミュニティバスの路線を追加しての坂出への乗り入れは現状困難であり、路線バスの利便性向上が最善と考える。

委員会審査

市長から提案された
議案について、
委員会ごとに審査しました。

教育民生委員会

■ 審査した議案

議案第59号、請願第1号

主な質疑

Q 委員 がん患者医療用補整具助成の金額を上限2万円の根拠は。
A 健康福祉部 他県や他市町の実施状況とおおよその補整具の費用を基に算出した。

Q 委員 産後ケア交通費補助金の周知方法は。
A 健康福祉部 ホームページや母子健康手帳交付時のチラシ配布等で周知する。

審査結果

議案は原案可決。
請願は不採択。

都市環境委員会

■ 審査した議案

議案第59号、議案第61号、議案第65号、議案第67号

主な質疑

Q 委員 県の工業団地整備助成制度に上乘せする制度の助成要件を市内分譲面積1ha以上とした根拠と制度の周知方法は。
A 産業文化部 県の助成要件である分譲面積5haを市内のみで確保することが難しく、他市町にまたがる場合も想定し、インセンティブな助成要件を設定した。周知は、県と連携を取り、様々な媒体を通じて広報活動に取り組んでいく。

Q 委員 現在のじんかい収集車は、市所有と委託業者所有が混在している。今後の方針は。
A 市民生活部 委託契約終了後に使用車両が市に譲渡される予

定であり、市所有に統一する。市が統括的に車両を所有し、委託業者への貸与を行うことで車両の計画的な更新と年度ごとの必要費用の平準化を図る。

審査結果

原案可決。

総務委員会

■ 審査した議案

議案第59、60号、議案第64号、議案第68、70号

主な質疑

Q委員 小型動力ポンプ付積載車の購入に関して、消防団配備車両を従来の軽自動車から普通自動車に変更した理由は。

A消防本部 近年、豪雨による土砂・風水害が頻発しているため、火災活動のほか、水防活動時の土のうや資機材の搬送にも対応できる積載型の普通トラックとした。

Q委員 9月末に延長されたマイナポイント事業の申請期限終了後の市民への支援は。

A市長公室 保険証や公金口座との紐づけ手続きへの支援は必要と考えており、調整中である。

Q委員 電動キックボードの税制上の車両区分の定義と所有者確認の方法は。

A総務部 新たに創設された特定小型原動機付自転車という区分となり、その定義は、電動機の定格出力が0・6kW以下、長さが1・9m以下、幅が0・6m以下、最高速度が20km/h以下の全ての条件を満たすものである。また、購入後の申告書提出の際に、本人確認や所有者確認を行う。

Q委員 市有地を不法占拠している瓦等の撤去を求める訴えの提起に至る経緯と市の対応は。

A総務部 当該市有地は、昭和46年に公共用地として購入し、元々は都市計画道路用地であったが、隣地の瓦業者が建物を増築してきたため、平成16年から19年に撤去の交渉を行った。その後、建物は撤去されたものの、瓦等は残ったままで十分な対応ができていなかった。

審査結果

原案可決。

請願審査結果

請願第1号 健康保険証の廃止でマイナンバーカードへの一律統合をしないよう求める意見書に関する請願

丸亀地区労退職者協議会
丸亀市政を考える会

● 請願の趣旨

健康保険証の廃止でマイナンバーカードや資格確認証に代われば、申請漏れ等による無保険扱いの人が生じ、市民への重大な影響や国民皆保険制度の崩壊の恐れがある。また、保険証に別人の情報が紐づけされた事件も起きていることから、政府に保険証の廃止でマイナンバーカードへの一律統合をしないよう求める意見書の提出を請願する。

● 議会の意見および審査結果

システムの不具合には政府も

対応に注力している。日本はデジタル化の遅れから、マイナンバーカードを基軸とした、安全かつ利便性の高いデジタル社会を実現する必要があると考えるため、本請願を不採択とする。

討論

【議案第59号に反対】 中谷真裕美
トラブル続出のマイナンバーカードは、運用を止めての総点検が先決で、マイナポイント事業の延長はすべきではない。

【請願第1号に賛成】 中谷真裕美
保険証を廃止し、トラブルが続くマイナンバーカードに統一することで無保険者ができ、国民皆保険制度の崩壊につながる。
【意見書案第1号に反対】 中谷真裕美
マイナンバーカードの総点検は事業を進めながらではなく、システムを止めてするべき。

意見書案第1号

マイナンバーカードの安全と信頼の確保を求める意見書(要約)

マイナンバーカードは、各地でトラブルが相次いでいる。個人情報流出は重大な問題であり、許されない。国民に生じた不安を払拭し、理解と信頼を得た上で、万全のセキュリティ対策を講じ、誤った情報の紐づけを防ぐ制度を構築するなど、マイナンバーカードの安全と信頼の確保が図れるよう国に強く求める。

令和5年6月定例会 賛否が分かれた議案の審議結果

議員名 ()内は所属会派	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
			渡邊 一馬(市民クラブ)	守家 英明(市民クラブ)	角野 仁美(市民クラブ)	中谷真裕美(会派無所属)	東 由美(志政会)	神田 泰孝(会派無所属)	水本 徹雄(会派無所属)	岡田 剛(会派無所属)	廣田 勝也(志政会)	武田 孝三(志政会)	香川 勝(志政会)	川田 匡文(志政会)	横川 重行(市民クラブ)	加藤 正員(市民クラブ)	大西 浩(市民クラブ)	竹田 英司(志政会)	三宅 真弓(志政会)	多田 光廣(志政会)	福部 正人(公明党)	内田 俊英(公明党)	真鍋 順穂(志政会)	横田 隼人(志政会)	山本 直久(志政会)	大前 誠治(志政会)
議案第59号	令和5年度丸亀市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	健康保険証の廃止でマイナンバーカードへの一律統合をしないよう求める意見書に関する請願	不採択	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
意見書案第1号	マイナンバーカードの安全と信頼の確保を求める意見書	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対

- ◆ 第99回全国市議会議長会定期総会、第85回四国市議会議長会定期総会で、各表彰規程に基づき、9名の議員が表彰状を授与されることとなりましたので、表彰状を伝達し、その功績をたたえました。
- ◆ 全国市議会議長会
 - 《議員在職10年以上》
神田 泰孝
水本 徹雄
岡田 剛
川田 匡文
真鍋 順穂
- ◆ 四国市議会議長会
 - 《議員在職20年以上》
中谷真裕美
山本 直久
 - 《議員在職24年以上》
横川 重行
大前 誠治



永年勤続9名に
表彰状を伝達

編集後記

今年度、広報広聴委員長の任を受けました。頑張ります。

さて、この数字に覚えはありませんか？37・21。春の県議選、丸亀選挙区の投票率です。これが10%になり5%になっても、果たして民主主義は機能していると言えるのでしょうか？心配ですが、まず行動を起こさなければならぬのは選管よりも、教育界と議会だと思います。

委員会は「だより」の編集のほか、議会報告会や若者との意見交換会を企画します。これらの活動が一役を担い、投票率の向上、民主主義の基盤の強化につながるよう挑戦します。

皆様、どうぞご意見を!!

広報広聴委員長
内田 俊英